

# めぐみイエス・キリスト教会

2018年6月10日(日)第二主日礼拝  
週報「通算第409号」



## 2018年標題聖句

### 使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈禱会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年6月10日(第二主日礼拝)  
午前10時～11時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌339「恵みの高き嶺」	p. 538
【交読文】	No.60 ヨハネの黙示録第21章	p. 928
【賛美Ⅱ】	新聖歌248「人生の海の嵐に」	p. 382
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナルNo.2「あなたと共にいつまでも」	
【聖書朗読】	ヨハネの福音書14章20節～21節(p. 192上段左側)	
【祈 禱】		
【説 教】	《私を愛する人には》鈴木 竜実 牧師	
【聖 餐 式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

※本日の聖書箇所 ヨハネの福音書14章20節～21節

14:20 「その日には、私が父におり、あなたがたが私におり、私があなたがたにおることが、あなたがたにわかります。

14:21 私の戒めを保ち、それを守る人は、私を愛する人です。私を愛する人は私の父に愛され、私もその人を愛し、私自身を彼に現わします。」

## ●ポイント1 「その日には」とは？

### ※ヨハネの福音書16章23節・26節「私の名によって」 (新約p.196上段)

16:23 「その日には、あなたがたはもはや、私に何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが父に求めることは何でも、父は、私の名によってそれをあなたがたにお与えになります。」

16:26 「その日には、あなたがたは私の名によって求めるのです。私はあなたがたに代わって父に願ってあげようとは言いません。」

### ※使徒の働き1章8節「聖霊があなたがたの上に」 (新約p.208下段)

1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、私の証人となります。」

## ●ポイント2 「私を愛する人とは」とは？

### ※ヨハネの福音書15章9節～12節「戒めを守るなら」 (新約p.193下段)

15:9 「父が私を愛されたように、私もあなたがたを愛しました。私の愛の中にとどまりなさい。

15:10 もし、あなたがたが私の戒めを守るなら、あなたがたは私の愛にとどまるのです。それは、私が私の父の戒めを守って、私の父の愛の中にとどまっているのと同じです。

15:11 私がこれらのことをあなたがたに話したのは、私の喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。

15:12 私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これが私の戒めです。」

## ●ポイント3 「私自身を彼に現わす」とは？

### ※マタイの福音書7章7節～8節「山上の垂訓から」 (新約p10下段左側)

7:7 「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。

7:8 だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。」

## ◎先週のメッセージの概要【あなたがたも生きる】

《イエス様と十一弟子は、まだマルコの家の一階大広間に留まっています。

さて、イエス様は「いましばらくで世はもう私を見なくなる」と言われました。それは十字架の死のことです。それはこの世界から、世の光であるイエス様を取り除かれることを意味しています。それゆえ暗闇がやって来るのです。

そして次に言われたことは、「しかし、あなたがたは私を見る」と言うことです。今、弟子たちはイエス様を、その目で見ています。つまり、世だけでなく、彼らも見ることが出来なくなることを預言されています。そして再びその目で見る時が必ずやって来ると言う約束なのです。

イエス様がよみがえられた日曜日の夜遅く、弟子たちが集まった部屋にイエス様が現われました。しかし、なぜか使徒トマスはいなかったのです。確かにこの時、十人の使徒たちはイエス様が生きておられる姿を見ましたし、イエス様に触ったのです。「あなたがたは私を見ます。」この時この預言は成就しました。しかしトマスは除外されてしまったのです。もちろんトマスはいじけません。しかし彼は、イエス様の言葉と約束をしっかりと握りしめ、信じるべきでした。イエス様は、「あなたがたは私を見ます。トマス以外は。」とは言われなかったのです。その一週間後にイエス様はトマスに現われて下さいます。

次に「私が生きるので、あなたがたも生きる。」と言われました。これもおかしい話です。なぜならこの時イエス様は生きておられ、また彼らも生きていて、息をしているわけです。イエス様はご自分が間もなく死ぬことを言われています。そしてただ死ぬだけでなく、復活することも預言されているのです。

イエス様がよみがえるのなら、彼らもまた死からよみがえることを約束されています。イエス様を信じる者は、たとえ死がやって来たとして、やがて復活の体が与えられ、永遠に生きることとなります。そしていつもイエス様と一緒にいることになるのです。それこそが「永遠のいのち」なのです。》

## ◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、6月17日(日)午後6時から行ないます。また聖書研究・祈禱会は、6月13日(水)午後6時15分です。

2. 鈴木師は、6月11日(月)松戸グレイスホームにおいて行なわれる聖書キリスト教会牧師会に出席します。また6月18日(月)TPC礼拝奏楽(尾山令仁先生)、6月19日(火)市川朝禱会において、奏楽とメッセージを担当します。